

平成5年



開業当初のスキージャンプ勝山



グレンデから市内を一望

スキージャンプ勝山がオープン

平成5年12月23日にオープンし、開業当初から西日本最大級のグレンデを誇っています。近年はラリーやイルミネーションが開かれるなど、更なる魅力の開拓がされています。

平成12年



会場には多くの方が来場



県立恐竜博物館内

恐竜エキスポが開催

県立恐竜博物館のオープンに合わせて「恐竜エキスポふくい2000」が開催。期間は7月20日～9月17日の60日間で、メイン会場の長尾山総合公園には80万人を超える入場者がありました。

平成14年



設立翌年に全線開通

えちぜん鉄道(株)が設立

京福電鉄の存続が協議され、最終的に第3セクター方式で「えちぜん鉄道株式会社」が設立しました。初代社長には山岸正裕市長が就任。アテンドと呼ばれる女性乗務員が乗務するスタイルが好評で、乗客も伸び、他のローカル線からも注目されています。

平成15年



市民対話集会（平成14年）



中学校でも合併が話し合われる

平成の合併選ばず

合併特例法の改正により平成の大合併が推進される中、勝山市でも調査・研究するとともに地区座談会などを開き、広く市民の声を聞きました。周辺自治体や国の情勢を踏まえ、3月議会の中で、山岸正裕市長が最終的に合併を見送る考えを示しました。

平成19年



九頭竜川と白山



自然豊かな勝山

世界で9番目のまちに

アメリカの経済誌「フォーブス」電子版の中で「世界で9番目にクリーンなまち」として評価されました。アジアおよび日本では1位であり、勝山市の美しく豊かな自然や環境への取り組みが評価されたと考えます。このような素晴らしい評価をされたことで、市民の自信と誇りが高まりました。

# 勝山市の平成を振り返る

## そして令和へ

平成21年



市民大学のジオパークツアー

日本ジオパークに認定

平成21年10月28日に、市内全域をエリアとする「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」が、正式に日本ジオパークに認定され、以来、地質遺産の保全・保護とともにその活用を推進してきました。平成25年の再審査では条件付き再認定となりましたが、指摘された項目について関係団体とともに取り組みの結果、平成27年に再認定を受けました。

平成26年



記念式典



前夜祭は郷土芸能がテーマ

市制60周年を迎える

昭和29年9月1日に勝山市が誕生してから60周年を迎えました。9月1日には60周年記念式典が挙行され、市民をはじめとする参加者がその節目を祝いました。また、前日には前夜祭が開催されたほか、市民企画事業などが年間を通して行われ、市内全体が60周年にわきました。

平成29年



記念イベントで「浦安の舞」が披露される

白山平泉寺が開山1300年

平泉寺の発掘調査は、平成元年度から始まりました。その結果、広大な境内が浮かび上がり、同9年に、かつての境内全域が国の史跡に追加指定されました。同29年には泰澄が白山を開いてから1300年を迎え、さまざまなイベントが開催。観光客も例年の3倍に達し、苅むす観光地として広く知られるようになりました。

平成29年



式典後に関係車両が通り初め



記念イベントに左義長も参加

中部縦貫自動車道が開通

福井市・永平寺町・勝山市・大野市を結ぶ中部縦貫自動車道永平寺大野道路の未開通区間が供用開始され、全線が開通しました。北陸自動車道と直接つながったことから、特に関西圏や中京圏から勝山市を訪れる観光客が増加しました。

平成30年



市民栄誉賞を贈呈



福井国体でも大活躍

山口茜選手が世界1位に

バドミントン競技で活躍中の山口茜選手（勝山市出身）が、シングルスでは男女通じて日本人初となる世界ランキング1位（平成30年4月19日更新）に輝きました。これを受け、勝山市から山口選手に34年ぶり3人目となる市民栄誉賞が贈呈されました。